

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

まんじゅうこわい (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 浦本 遼平

今週のドル円予想レンジ **105.50 ~ 107.50**

りそなWEEKLY COLUMN

米大統領選のカギを握る福音って知ってる？ (P3)

埼玉りそな銀行 資金証券部
中山 朔

- **トランプ大統領は就任以来キリスト教の福音派に徹底的に配慮する姿勢を見せしてきた**
- **米国の南部福音派が多い地域をバイブルベルトというが、この南部地域を共和党が獲得すればトランプ氏再選は大いにあり得る**

2020/9/14

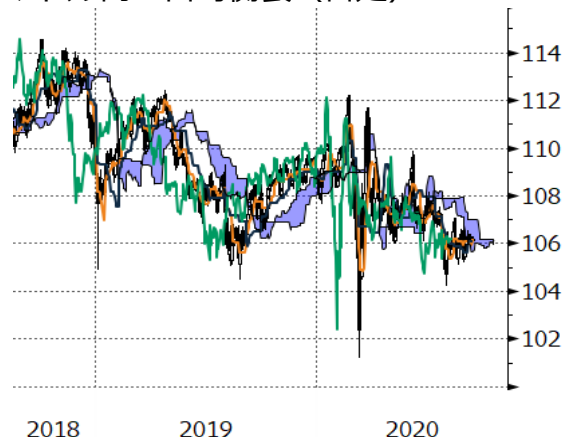
りそな外為レポート

まんじゅうこわい

今週のドル円予想レンジ **105.50 ~ 107.50**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表（日足）



◆為替相場のすすめ

“USD安こわい”と感じている投資家がかなりいるようだ。先月のジャクソンホール会議にてFRBはインフレが多少上振れても緩和を続ける方針に転換。またドル売りの受け皿として買われていたEURに関して、先週のECBにてEUR高への強い牽制発言は無かった。材料だけに注目するとUSD安EUR高がもう一段進みそうな内容だが、実際の市場の反応はいまいち。9月に入ってからドルインデックスは底堅く、EUR/USDもECB後に一瞬振れただけ。USD安に向けたポジションが膨らみすぎて、徐々に飽和状態に近づいているのではないかと。IMMのEUR先物の買いポジションが過去最高水準で高止まりしたまま伸び悩んでいるのもその証左。加えて今週末の日本は4連休。7月の4連休後に104円台までドル円が下落した事が記憶に新しい。過去から相場動向を学ぶのが投資家の基本動作である事を踏まえると、対JPYでも“USD安こわい”と備える投資家は多いだろう。このように見方が傾くときは意外にUSD安は進まない。“こちらへんでUSD高がこわい”と濃いお茶を一杯する余裕があれば、、、と思う。
(カスタマーディーラー 浦本遼平)

◆今週の日程

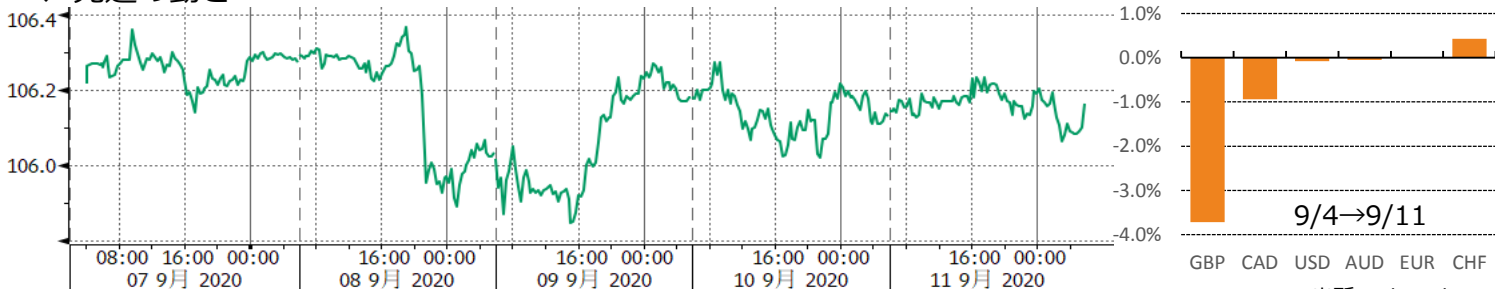
15日(火) 中 8月生産・小売・投資
15日(火) 米 8月鉱工業生産
16日(水) 日 8月貿易統計
16日(水) 米 8月小売売上高
16日(水) 米 FOMC(結果発表)

17日(木) 日 日銀金融政策決定会合
17日(木) 米 8月住宅着工・許可件数
17日(木) 英 BOE金融政策委員会
18日(金) 日 8月CPI
18日(金) 米 9月ミシガン大消費者信頼感指数

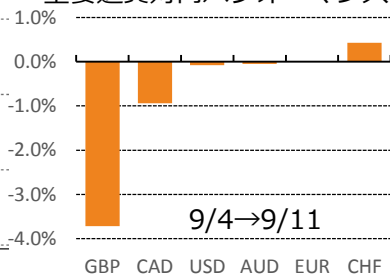
◆今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓) NY引け値 9月11日(金) 106.16円 VS 9月18日(金)

東京							大阪					埼玉			
井口	中根	湊	小新	鳥井	田中	浦本	中里	伊藤	鈴木	武富	野瀬	小林	津田	石井	佐藤
↓	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↓	↑	↓	↓	↑	↓	↑	↓	↑

◆先週の動き



主要通貨対円パフォーマンス



出所：Bloomberg

◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2020/9/14

りそな WEEKLY COLUMN

米大統領選のカギを握る福音って知ってる？

- **トランプ大統領は就任以来キリスト教の福音派に徹底的に配慮する姿勢を見せてきた**
- **米国の南部福音派が多い地域をバイブルベルトというが、この南部地域を共和党が獲得すればトランプ氏再選は大いにあり得る**

埼玉りそな銀行 資金証券部
中山 朔

エヴァンゲリオン の名前の由来「福音」



トランプ大統領の 徹底したキリスト 教「福音派」への 配慮

シン・エヴァンゲリオン劇場版が近日公開される。前作の公開からおよそ8年ぶりとなる新作とあってファンの期待も大きい。様々なメディアへ展開されているため一度は耳にしたことがあるのではないだろうか。ただ、このエヴァンゲリオンという名前の由来はご存じだろうか。「福音」を意味するギリシア語の「euangelion」からきているそうだ。福音とは「喜びを伝える知らせ」という意味のほかに、「福音書に記されているキリストの生涯や教え」という意味がある。実際ストーリーも旧約聖書になぞらえているシーンが多数でてくる。このような宗教や神話に関連した作品が多くの人を惹きつけるのは日本人が宗教に馴染みがなく、新鮮に感じられるからだろうか。日本のように国民の多くが無宗教という国は少数派で、例えばアメリカでは依然として宗教を信仰する方が大勢いる。歴史を辿ってみても彼らの思想や行動は、様々なことに影響を与えてきたわけだが現在においてもそれは変わらない。

キリスト教で「福音派」といえば、特定の教派を指すものではなく、聖書の文言を厳格に信仰する保守的なプロテスタントのことを言う。その割合はアメリカ国民のおよそ25%にも及ぶため、大統領選挙においても無視できない存在となっている。前回2016年の米国大統領選挙では福音派の8割がトランプ氏に投票したといわれ、彼らの投票がトランプ氏の勝利に大きな影響を与えた。トランプ氏の言動や立振る舞いを見ると、敬虔な信者ほど拒絶反応を起こしそうなものだが何故支持を得ることができたのだろうか。それは以下の3点に代表される徹底した福音派への配慮がある。

1. 副大統領に福音派であるマイク・ペンス氏を指名

ペンス氏は自身のことを「まずはキリスト教徒、次に保守主義者、最後に共和党員」と表現している。インディアナ州知事時代には、宗教的信条を理由に企業がサービス

りそな WEEKLY COLUMN

の提供を拒否することを認める「宗教の自由回復法」を推進したことは全米で議論を呼んだ。福音派は同性婚に対して否定的な立場であり、この法案がLGBTに対する差別を正当化すると捉えられたのだ。

2. 連邦最高裁の判事に人工中絶に反対する保守派を選任すると公約し実行

オバマ政権時代にはリベラル派4人、保守派4人、中道派1人だった最高裁判事だが、中道派1人の引退に合わせて保守派1人を新たに選任した。これによりリベラル派4人、保守派5人となり人工中絶に反対する福音派にとって有利な環境となった。

3. 米国イスラエル大使館をエルサレムへ移転

エルサレムにはキリスト教、ユダヤ教、イスラム教の聖地があり、親イスラエルである福音派はエルサレムがイスラエルの首都だと主張してきた。かつて東エルサレムにはパレスチナ人が住んでいたが、イスラエルが戦争で占領した経緯があるため歴代大統領や国際社会は首都とは認めていない。その中で移転を強行したのである。

2000年代に入ってから、福音派は共和党を支持してきた。その中でもトランプ氏は特別福音派に配慮し政権運営を行っている。一部にはその手法に批判する声もある。キリスト教福音派の有力紙「クリスチャニティー・トゥデイ」がトランプ大統領を上院での弾劾裁判で罷免すべきだとする論評を掲載したことが話題となった。ウクライナ疑惑で憲法に抵触し道徳にも大きく反したためだと述べている。

しかし、掲げた公約は着実に実行してきている。4年前に彼に投票した支持者は評価しているだろうし、その時には懐疑的だった者も4年間の成果で見方を変えているかもしれない。米国では若者の宗教離れという現象が起きている。宗教の存在を弱めたくない福音派と支持を得たいトランプ氏の利害は一致している。米国の南部福音派の信者が多い地域をバイブルベルトというが、その地域の選挙人は196人で占有率は36%に及ぶ。今年の選挙も南部地域を共和党が獲得すればトランプ氏の再選も大いにあり得る。

(参考文献)

日本経済新聞：2016年11月12日 消去法でトランプ氏、「バイブルベルト」の苦悩
日本経済新聞：2019年11月6日 大統領再選へ 米裁判所で強まるトランプ支配

米国大統領選の力 ぎを握る「福音 派」の動向

